

# 文芸たぐひ

## 短歌

【岩瀬短歌会】

くれないの鶏頭秋の終わるころ手のひら  
広げ種をこぼしぬ 渡辺しな子

運動会わが子を追いかけスマホにて写真  
撮る父母 秋空高し 仁平千代

大きな鯉はねたる音に境内の静寂一瞬に  
してやぶられぬ 大久保富美江

向き合つてよそゆき顔の喜寿の夫回転寿  
司のウニをほおぼる 浜野和操

主義主張違えど今日まで添うてきた言い  
合いながら初老となりぬ 大関登志子

肩先が冷えていきなり秋がきたあわてて  
取り出す温風ヒーター 雨谷友子

一段と寒さ厳しき冬の日は熱々鍋物ネギ  
をたっふり 泉三郎

竹ざるにぱっくり割れた実柘榴と枝付き  
柿入れ卓上は秋 広澤日出子

足早に擦れちがふとき青春のいい香りし  
て朝の女生徒 鈴木英雄

豎樋を落つる雨音聞きながら深まる秋の  
紅葉をながむ 瀧井幸子

稲刈りの終わりし田の面は朝の陽に一息  
つけるベージュの絨毯 兒玉廣子

界限に石を切る音いまは無く真壁街道秋  
陽に静か 川崎邦子

いつよりか思ひ寄せたり鎌倉の大仏に逢  
ふとイタリアの孫は来 小林美瑛子

Tの字に竿干しされてシャツ並ぶタイパ  
もコスパもどこ吹く風と 久保悦子

夕暮れの北風小僧をおい越して部活かえ  
りの自転車速し 瀧田勇

## 【一般投稿】

身障の義姉を案じて師走来ぬ都会の暮ら  
し身に馴染むとも 袖山千鶴子

## 俳句

【茂山俳句会】※兼題「冬の水」「室の花」  
テーマ句「老」ほか当季雑詠  
若き日の夫を待つ夜の虎落笛 酒寄誠

早梅に落ちくる天日まぶしかり 宮本立夫

冬の水心の澱も沈めらる 渡部千恵子

振り向くは待合室の大囃 相田ひろし

老いてなほ力いっぱい葱を抜く 植竹ふみ

日向ぼこ開きしままの歎異抄 金子弘毅

冬の水確と月代捕らへたる 海老沢静夫

先ず金の肌ひきしめ寒の水 君島真理子

## 【一般投稿】

高らかに皇帝ダリアの威厳なり 長堀芳江

筆持ちて留める跳ねると書初に 小林衛子

世界中戦争の中師走風 佐都志

句を友に一日炬達を一人占 東美子

冬の蠅セピアの草に温みたり 浅賀順子

初夢を思ひ出せずの夜もすがら 比呂子

## 俚謡

【さくら俚謡会】  
登る朝日が日毎に強く梅の蕾に出る笑顔 山もみじ

杓の豆まく元気な声の孫の笑顔は福の神 花野しぐれ

補聴器付いたらルンルン気分緒話も聞  
こえそう みーちゃん

祝う節分卒寿を迎え豆茶飲み干し出る元  
気 田哲人

## 県西エリア不動産専門店

中古住宅 **売却相談** **無料査定**  
そのまま **買います!!** **片付け不要**



あきやの未来  
株式会社レステコホーム 桜川店 桜川市鎌田 44  
TEL.0296-71-5369  
※どんなに古い空家でもご相談ください。



安心と笑顔を未来へつなぐ



**稲川優子税理士事務所**

桜川市西飯岡475-2

☎0296-73-6363

E-mail ina-tax.ceo@tkcnf.or.jp